

緑のボランティア通信

2026.7.1 No.104

第2回コミュニティガーデン 入門講座・前編

受講生を募集します

花壇づくりや花のお手入れを通して地域で楽しめるコミュニティガーデンについて学ぶことを目的とした入門講座の前編です。前編は6回の講座とお手入れ2回のメニューです。

- 講座の時間 * 午前9時30分～12時30分
- 参加費 * 無料(定員30名)定員を超えたときは抽選
- 対象 * 市内在住、在勤、在学の方(原則全回出席できる方)
- 場所 * 川崎市平和館 会議室・中原平和公園 花壇
- 講師 * NPO法人 Green Works
- 募集期間 * 令和8年7月1日(水)～8月28日(金)
- 申込方法 * 協会HP申込フォーム及びチラシ受講申込書を郵送または、FAX
- 応募・問合せ先 * (公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課
〒211-0052 川崎市中原区等々力1
電話 044-711-6631 FAX 044-722-8410



開催日(全8回)	内容	会場
第1回 令和8年9月25日(金)	コミュニティガーデン入門 コミュニティガーデンとは	川崎市平和館 会議室 中原平和公園 花壇
第2回 令和8年10月9日(金)	花と緑の基礎知識を学ぶ 土と緑の基礎知識・テーマ出し	
第3回 令和8年10月30日(金)	花壇のデザイン テーマ決めとテーマカラー	川崎市平和館 会議室 中原平和公園 花壇
第4回 令和8年11月20日(金)	植栽ワーク 花壇植え付け	
第5回 令和8年12月11日(金)	コミュニティガーデンの楽しみ方① お手入れの基礎知識	
第6回 令和9年1月22日(金)	コミュニティガーデンの楽しみ方② 活動の体制づくり・後編に向けて	
第7回 令和9年2月26日(金)	フォローアップ講座 お手入れ①	
第8回 令和9年3月19日(金)	フォローアップ講座 お手入れ②	



※引き続き令和9年4月から1年間の後編講座を予定しています。



申込フォーム



目次	
第2回コミュニティガーデン入門講座・前編 受講生を募集します	1
かわさきの森づくり(里山ボランティア育成講座)後半の日程 開催報告(4月～5月)	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）後半の日程

かわさきの森づくり 申込方法

協会HPの申込フォームまたは、はがきに、〒、住所、名前、年齢、電話番号、メールアドレス、希望の日程を明記し、公園緑地協会「かわさきの森づくり」係宛に送付ください。

※実施日より1ヶ月前の1日から実施3日前まで先着順で受け付けます。
※雨天決行、雨天対応等、詳細は申込者に通知します。

申込フォーム



申込フォーム



受講者募集中!

- 対象 15歳以上の関心のある市民、各回 40名程度
- 実践編（各回ともに9時30分～12時00分 小雨決行 参加費無料）

	日時	場所	作業内容
第8回	8月29日(土)	井田山特別緑地 (中原区)	下草刈り等
第9回	9月29日(火)	長尾2丁目特別緑地 (多摩区)	シノ竹刈り
第10回	10月25日(日)	生田寒谷特別緑地 (多摩区)	シノ竹刈り
第11回	11月8日(日)	柿生緑地 (麻生区)	竹林整備
第12回	12月20日(日)	岡上梨子ノ木特別緑地 (麻生区)	コナラの伐採
第13回	令和9年1月16日(土)	黒川北海道特別緑地、他 (麻生区)	シノ竹刈り

講義編（13時00分～16時00分 参加者無料）

講義A	9月29日(火)	長尾いこいの家大広間 (多摩区)	川崎市「緑の基本計画」、里山の自然環境と管理手法、ボランティアの心得等
講義B	令和9年1月24日(日)	協会事務所会議室 (多摩区)	

- 申込方法 協会HP 申込フォームまたは、はがきに、〒、住所、名前、年齢、電話番号、メールアドレス、希望の日程を明記し、公園緑地協会「かわさきの森づくり」係宛に送付ください。
※実施日の2ヶ月前の1日から実施3日前まで先着順で受け付けます。
※現場案内、雨天対応等、詳細は申込者に通知します。



開催報告（4月～5月）

里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」

4月は久末イノ木特別緑地（高津区）、野川十三坊台特別緑地（宮前区）、王禅寺東特別緑地（麻生区）、生田東五反田特別緑地（多摩区）の4カ所で開催し、春の竹林整備活動を行いました。各竹林では枯れた竹や倒れた竹を整理し、その後タケノコの駆除・間引きを行いました。



こども黄緑クラブこども編&おとな編

4月「春の草花遊び（対象：幼児から小学生）」は講師の高柳芳恵先生と王禅寺ふるさと公園を散策しながら草花遊びを楽しみました。5月「緑地散策（対象：大人）」は現地団体の案内人（「飛森谷戸の自然を守る会」）による緑地や活動、動植物の解説を聞きながら生田緑地飛森谷戸を楽しく散策しました。



4月「春の草花遊び」

5月「緑地散策」

夕焼けガーデン (2018設立)

活動場所 麻生区「白鳥トンネル」の上 (麻生区白鳥3-20)
交通案内 小田急多摩線「栗平駅」下車徒歩5~6分



「私は[夕焼けガーデン]といいます。晴れた日には毎日富士山を眺めながら通る人とお話をしています。道行く人は急いでいる人ものんびりお散歩している人もみんな私の方を向いて『今日もきれいに咲いてくれてありがとう』と言ってくれます。私は『どう致しまして』と返します。道端に置いて



ある丸太の椅子に座っている人はここに来た時には渋い顔をしてたのに私のガーデンを見たら直ぐに明るい顔になりました。写真を撮ってる人は富士山と私のガーデンのいい写真にしようと一生懸命です。私のガーデンでチョッ

と休息し立ち去る人はみんな『ありがとう』と言ってくれます。そう言われる度に、私の面倒を見てくれるボランティアのおじさん、おばさんの力を借りてもっときれいに咲いて、通る人がもっと笑顔になってもらえるよう頑張ろうと思うのです。」

〈エピソード〉道路傍の雑草が生い茂り、見通しが悪かったカーブ道路を1人の婦人が草を刈り整地し、そこに花の種を撒いて咲かせました。そこから少しずつ人が集まり、今では地域の隣り近所の人と一緒に花の植替えやお世話をしています。大変なのは水が無く自宅から水を運び水やりをしていることです。それでも今は手伝ってくれる人も増えて良いコミュニティの場となっています。(阿部 力)



生田大谷第2公園 (東地区) 管理運営協議会 (2008設立)

活動場所 生田大谷第2公園 (東地区) (多摩区東三田3-9-6)
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口から小田急バス「専修大学入口・川崎ゴルフ場入口」下車3~4分



マンション建設時に設立された当公園を、地元の有志で管理・運営をしようと団体が誕生しました。枕木で作られた花壇が1基。当公園の活動はそこからスタートしました。あれから約20年、今では種々の材料で出来た花壇が14基となり、マンションの住民による有志メンバーで公園掃除や花壇の手入れをはじめ、公園行事として、保育園児による種まきや球根植え・花壇改修・夏休みラジオ体操・ラベンダーの花摘み等を行っています。ラジオ体操は子どもに人気の行事で、13年前に子どもたちの夏休みの思い出にと始めたところ、第1回の初日に100人近い参加者で公園内の広場は人で埋まり、広場の上を通る道路にまで人が溢れていました。9年近く続いた行事がコロナ禍で3年の休止となり、再開した当初は参加者が激減しました。現在、参加者は徐々に回復してきていますが、まだまだ充分とは言えません。また、



掲示板や物置を傷付けられたり、花壇内の犬の落とし物など悪質ないたずらに心を傷めることも少なくないです。それでも多くの人が咲く花を見て喜んでくださるととても嬉しいです。公園を通る人が、「あっ、きれいな花」と足を止め、それがやがて公園活動や公園行事への理解につながればと、日々の作業を進めて行きたいと思っています。(野崎 明男)

いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。



『タンポポ!』って
よ
呼ばれるけれど…

27 「ブタナ」

(キク科・エゾコウゾリナ属)

Hypochaeris radicata L.

ブタナは、一見するとタンポポによく似た黄色い花を咲かせるが、実はキク科エゾコウゾリナ属に属する別の仲間である。日本には昭和初期にヨーロッパから持ち込まれた外来植物であり、「豚菜（ブタナ）」という少しかわいそうな名前は、かつて豚の飼料として利用されたことに由来するとされる。タンポポとの見分け方は意外と簡単で、タンポポが1本の花茎に1つの花を付けるのに対し、ブタナは花茎が枝分かれし、複数の花を咲かせる点の特徴である。在来の草花との競合が問題となることもあるが、春から秋まで長期間にわたり開花することから、ミツバチやハナアブなど多くの昆虫にとって貴重な蜜源・花粉源となっている。人の目には雑草として映ることもあるが、生き物たちにとっては大切なレストランのような存在なのである。

ゆめ
夢は、
いちど
もう一度エリート。

28 「ネズミギ」

(イネ科・ドクムギ属)

Lolium multiflorum

ネズミギは、もともとヨーロッパ原産の牧草。成長が早く栄養価も高いため、家畜の飼料として世界中に広められた「エリート牧草」であった。しかし現在では、その優秀さゆえにやっかい者扱いされることも多い。春になると驚くほどの速さで成長し、一株から数千粒もの種子をつくって勢力を拡大する。さらに花粉はイネ科花粉症の原因にもなるため、警戒される側面も。一方で、その高い生産力は新たな価値を生む可能性を秘めている。地上部はバイオエタノールやバイオガスの原料として活用が検討されており、地下部では根が土壌への炭素蓄積に貢献すると考えられている。かつてのエリート牧草が、未来の環境を支える存在として再び注目される日が来るかもしれない。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究者)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりにされてしまいますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力1
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>